

市 民 交 流 課

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関して広く市民に情報発信するため、公募市民の企画編集による「めざそや！共同参画」を広報いせへ4回掲載した。また、市民との双方向の関係づくりを目指し、クイズを出題し正解者へプレゼントを贈呈した。

掲載月	記事概要
5月1日号	伊勢の地になでしこパワー なでしこ流で、世界一めざそや！三択クイズ
8月1日号	仕事も育児も楽しむパパに テレビよりパパがイイ！ 5月1日号の答えと解説 めざそや！三択クイズ
11月1日号	「ほめる」効果で笑顔あふれる職場や家庭に 8月1日号の答えと解説 めざそや！三択クイズ
2月1日号	男女共同参画で働きがいのある職場づくり 11月1日号の答えと解説 めざそや！三択クイズ

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現を目指した取組を行った。

なお、企画運営については、公募市民10人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、協働して行った。

ア パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を行った。

①啓発品配布

実施日	実施場所	内 容
24. 7. 29	福祉健康センター（ボランティアまつり）	啓発用ティッシュの配布
24. 8. 17	ミタス伊勢	

②講演会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
24. 8. 12	ハートプラザみその 多目的ホール	「ほめ達」が人と組織を活性化 ～あなたのまわりにはダイヤの原石がいっぱい～ 講師：西村貴好さん	人 240

イ イクメン講座の開催

男性が子育てに係わることで得られる効果を感じ取り、積極的な育児参画を促すため、子育て中の男性を対象に3回シリーズの「パパスクール」を開催した。

	開催日	開催場所	内 容	参加人数
第1回	24. 5. 19	御菌公民館講堂	「仕事も育児も楽しむパパになろう！」 講師：ファザーリング・ジャパン 八坂貴宏さん	人 26
第2回	24. 9. 16	伊勢安土桃山文化村	読み聞かせ講座「絵本から学ぶ育児」 講師：井田清子さん 人形劇「ぴんすけぼんすけ忍法帖」 ししかばぶさん	19 (パパのみ)
第3回	24. 12. 9	尾崎罌堂記念館	「子どももママも輝くパパコーチング」 講師：ファザーリング・ジャパン東海 飛鷹正範さん、久世准生さん	14

ウ 伊勢まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつりに出展し啓発を行った。

開催日	内 容
24. 10. 6～7	パネル展示、チラシ・啓発ティッシュなど配布、クイズ出題

エ 縁結び応援事業の開催

男女の出会いの場を提供すると共に、家庭生活における男女共同参画推進やお互いを思いやる意識を醸成するため、独身男女を対象にした縁結び応援事業を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
24. 11. 4	尾崎罌堂記念館	「うましくに伊勢出逢いのレストラン」 自己紹介、男女共同参画クイズ、フリートークなど	60人

オ 生活講座の開催

家庭生活における男女共同参画を目指して、男性の家事参加を促進するための講座を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
25. 3. 10	御薊公民館 講堂	「家事マイスターをめざそう！」 そうじの基本、浴室の掃除、クリーニングの基礎知識、衣類の染み抜き、アイロン掛けの実演など 講師：株式会社ダスキン、嵯峨ランドリー	人 24

カ 三重県内男女共同参画連携映画祭

三重県の男女共同参画を推進するため、県内の男女共同参画センター5館と19市町が連携して映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内 容	参加人数
24. 6. 24	ハートプラザみその多目的ホール	映画「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」上映	人 355

3 第2次男女共同参画基本計画の策定

平成20年3月に策定した「男女共同参画基本計画」の計画期間が24年度末で終わるため、第2次基本計画を策定した。策定にあたっては、伊勢市男女共同参画審議会へ諮問を行い、意見を求めた。審議会では、市民意識調査、事業所アンケートの結果及びパブリックコメントによる意見等を反映し、庁内推進委員会での協議を踏まえ、5回の審議を経て答申書が提出された。それを受け、平成25年3月11日第2次男女共同参画基本計画を決定した。

4 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催している。平成24年度は、第2次男女共同参画基本計画に関して諮問を受け、次のとおり審議を行い、答申書を提出した。

	開催日	開催場所	内 容
第1回	24. 6. 22	市役所東庁舎 4-2 会議室	1) 会長選任 2) 第2次伊勢市男女共同参画基本計画について ・市長から諮問書提出 3) 平成24年度取組事業について
第2回	24. 9. 6	市役所本館 4-5 会議室	1) 第2次伊勢市男女共同参画基本計画(案)について

第3回	24. 9. 26	市役所東庁舎 4-2 会議室	1) 第2次伊勢市男女共同参画基本計画(案)について
第4回	24. 11. 7	市役所東庁舎 4-3 会議室	1) 第2次伊勢市男女共同参画基本計画(案)について
第5回	25. 1. 25	市役所東庁舎 4-2 会議室	1) 第2次伊勢市男女共同参画基本計画(案)について
	25. 2. 7	市長応接室	答申書の提出

5 みえネットとの協働事業

伊勢市の男女共同参画をさらに推進するため、「意思決定の場への女性参画」促進応援プランに取り組む『男女共同参画みえネット』や三重県と協働し、女性の参画を促進するための事業を実施した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
24. 5. 26	伊勢商工会議所 5階 大会議室	関係者懇談会	人 42
24. 11. 1	伊勢市生涯学習センター いせトピア 3階 研修室	講演と井戸端会議 with パネラー ・講演「会社の中で女性を活かす方策」 講師:万協製薬(株)社長 松浦信男さん ・井戸端会議テーマ 「あなたの一歩で職場が変わる！」	86
25. 1. 21	三重県伊勢庁舎 1階 101 会議室	第2回関係者懇談会	33

6 母子家庭等の女性のためのパソコン講座の開催

経済的に困難な状況にある女性の自立を支援するため、三重県男女共同参画センター等と連携し、パソコン講座を開催した。

	開催日	開催場所	参加人数
土日コース	25. 1. 27、2. 2・3 (3日間)	ハートプラザみその 保健会議室	人 10 (うち市内在住者 5)
平日コース	25. 2. 20・26・27 (3日間)		14 (うち市内在住者 11)

7 アンケート調査の実施

第2次男女共同参画基本計画の策定にあたり、現状を把握し今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施した。

(1) 市民意識調査

- ・対 象 市内在住の16歳以上の男女 2,000人
- ・調査時期 平成24年4月から5月
- ・回答数 853人(42.7%)

(2) 事業所調査

- ・対 象 市内の事業所 322社
- ・調査時期 平成24年7月から8月
- ・回答数 137社(42.5%)

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月に公設公営でセンターを稼働し、平成16年7月には、指定管理者制度を導入して公設民営で稼働。平成24年度から第4期目(5か年)の指定管理者を選定している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自16. 7. 1 至17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自17. 4. 1 至21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自21. 4. 1 至24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自24. 4. 1 (予定) 至29. 3. 31	59,832,000	〃

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ(<http://skc.e-ise.net>)、情報誌(「パルティ」年3回発行)等を活用し市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深めた。

期 日	内 容
24. 6. 10	熊野復興支援チャリティーLIVE (熊野市復興支援チャリティーコンサート)
24. 7. 21	チャリティーコンサート第11回ミュージックコミュニケーション (熊野市復興支援チャリティーコンサート)
24. 8. 24	登録団体交流会 (登録団体の交流とセンターの活動内容連絡)
24. 12. 22	チャリティーコンサート第12回ミュージックコミュニケーション (東日本大震災復興支援チャリティーコンサート)
25. 1. 26	東日本大震災復興支援チャリティーLIVE (東日本大震災復興支援チャリティーコンサート)
25. 2. 10	講演・座談会「いま語る、被災、耐災の日々」 (岩手県山田町の語り部たちによる講演と座談会)
25. 3. 23	第3回いせ市民活動フェスティバル (登録団体及び市民との交流)

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC (センター内の利用に限る) を設置。
また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催した。
- ・市民活動団体の充実、交流を図るためのPC講習会や助成金活用講座を開催した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的 ホール	A会議室	B会議室	1 F ホール			
19. 4. 1 ～ 20. 3. 31	% 37.4	% 33.3	% 35.5	% 19.8	人 47,898	% 27.5	人 16,808
20. 4. 1 ～ 21. 3. 31	41.5	38.2	42.2	16.8	48,152	27.6	16,247
21. 4. 1 ～ 22. 3. 31	39.3	42.0	45.5	24.7	42,273	26.7	15,963
22. 4. 1 ～ 23. 3. 31	37.0	47.5	60.1	29.5	42,450	24.3	19,012
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	36.0	42.9	50.3	31.1	44,131	26.1	19,288
24. 4. 1 ～ 25. 3. 31	34.2	41.2	47.3	28.3	43,737	24.9	14,778

※平均稼働率・・・稼働実績時間数／稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数

(登録団体数)

基準日	登録団体数
16. 7. 1	59 団体
18. 3. 31	82
19. 3. 31	102
20. 3. 31	113
21. 3. 31	127
22. 3. 31	143
23. 3. 31	156
24. 3. 31	153
25. 3. 31	162

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助した。

選考は平成 24 年 5 月 13 日に、申請団体の公開プレゼンテーションによる審査会を開催し、交付団体を決定した（申請 19 団体、決定 14 団体）。審査員には民間及び学識経験者から 5 名、県職員 1 名を委嘱した。

なお、補助金は補助対象経費の 10 分の 8 以内、10 万円を上限額として交付した。

○対象事業

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等を内容とする活動

○平成 24 年度交付団体（14 団体）

団体名	事業名	交付額（円）
NPO法人伊勢河崎まちづくり衆	学生学芸員による河崎の家別古文書調査と目録の作成	100,000
伊勢市フロアボール連盟	「フロアボール体験教室」 ～フロアボールで 親子が いい汗！ いい笑顔!～	100,000
伊勢祝祭都市会議	せんぐう館開館記念 第 1 回伊勢祝祭都市会議シンポジウム— 外宮に学ぶ「衣・食・住」—	100,000
伊勢商工会議所青年部	第 7 回伊勢っ子ものしり王選手権	100,000

尾上まちづくり実行委員会	まちづくり推進事業「地域元気プロジェクト」	100,000
厚生総合型スポーツクラブ	伝統文化の継承（花道・茶道）	100,000
四郷地区コミュニティセンター 地域交流室運営委員会	四郷地区交流活性化事業	100,000
NPO法人ステップワン	地域とともにすすめる障害者と災害について考えるプロジェクト	100,000
俳祖守武翁顕彰会	第58回守武祭記念俳句大会	100,000
福祉の店`えがお` `コーヒの店スマイル`	コーヒの店`スマイル`の水廻りの環境整備事業「給湯設備の設置」	100,000
二見浦再生協議会 (地域資源活用の会)	二見浦地域資源の発掘・活用事業（「貝めし」事業）	100,000
二見浦俳句大会実行委員会	第49回二見浦俳句大会	100,000
ふたみふれ愛クラブ	二見ふれ愛マラソン	100,000
和太鼓伊勢天翔	和太鼓の保存・伝承活動	100,000
計		1,400,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的とした「伊勢まつり」を開催している。

平成24年度は総勢68団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

平安絵巻さながらに再現された斎王群行（明和町）、約50台のスーパーカーが初参加したほか、例年を大きく上回る約600人による伊勢音頭パレードの披露もあり、賑やかな秋の伊勢を創出した。

- 開催日 平成24年10月6日（土）、7日（日）
- 会場 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線（尼辻交差点）～伊勢市駅周辺
- 参加団体数 214団体（6,704人）
- 観客数 約15万人

4 伊勢市矢持会館管理事業

平成21年4月1日から運営を休止していた農林漁業体験実習館の施設を、平成23年4月1日から伊勢市矢持会館と名称を変更し、集会施設として運営を行いました。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 委託金額 250,000円（指定管理料）
- (3) 利用者数 1,318人

5 地区連絡員事業

行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員（177人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付（月2回）
- (2) その他市長が特に必要と認める職務

平成24年3月31日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,318世帯 最少世帯数 峰団地 11世帯

平均世帯数 300世帯（報酬総額 101,883,600円）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

コミュニティセンター使用状況

豊浜・城田・沼木・神社・北浜・浜郷・宮本・大湊地区コミュニティセンターについては、地域の会合、生涯学習・スポーツ課の出前講座など地域のコミュニティや生涯学習の場として活用されている。

(1) 豊浜地区コミュニティセンター（H24.4.1～H25.3.31）

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
57	2	59	756	112	271

(2) 城田地区コミュニティセンター（H24.4.1～H25.3.31）

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
80	8	88	1,342	247	577

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター（H24.4.1～H25.3.31）

会議室利用状況						図書室利用状況	
会議室	※大会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	件	件	人	人	冊
81	22	38	2	143	3,001	379	904

※大会議室：生活研修室と営農相談室の仕切りを取り、部屋を一体で利用した場合

(4) 神社地区コミュニティセンター（みなとデイサービスセンターに併設）

（H24.4.1～H25.3.31）

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
651	1,763

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
107 件	43 件	150 件	2,953 人	439 人	1,453 冊

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
224 件	2 件	226 件	3,262 人	543 人	1,315 冊

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
172 件	179 件	351 件	3,438 人	237 人	726 冊

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H24. 4. 1～H25. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
57 件	43 件	100 件	1,433 人	447 人	875 冊

2 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大湊町 地内ほか	大湊地区コミュニティセンターほか飛散防止等フィルム貼付工事	飛散防止フィルム等貼付一式 (大湊地区、豊浜地区、北浜地区、浜郷地区コミュニティセンター)	円 2,365,650	24. 11. 30	25. 1. 16

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した中国人研修生、ネパール人研修生、ベトナム人研修生対象の説明会を開催 (10回)

イ 外国人のための生活ガイドの配布

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」（日本語版、中国語版、ポルトガル語版、英語版）を随時配布した。

ウ 外国人向け防災研修の開催

三重県国際交流財団に依頼し、外国人サポーター研修及び外国人向け防災訓練を開催した。

- ・日時 平成 24 年 8 月 18 日
- ・場所 いせ市民活動センター
- ・参加人数 外国人防災訓練：約 40 人（主に中国人）
サポーター訓練：約 20 人（主に日本人）

エ 防災ガイド等の外国人全世帯への配布

三重県が発行している資料（中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、韓国語）等を市内在住外国人全世帯（特別永住者を除く）636 世帯へ配布した。

オ 三重縣市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11 市町のメンバーにより開催され、計 12 回参加した。

(2) 国際交流関係

ア 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに伊勢市の国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・ホームステイ
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・伊勢市駅前ボランティアタウンガイド
 - ・会報誌「フィロス」の発行 等

平成 25 年 3 月末会員数 個人会員 128 名、団体会員 6 団体、企業会員 2 企業

イ 全米桜祭り

平成 24 年 4 月に米国・ワシントン D. C. にて開催された全米桜祭りに市長が参加し、神宮式年遷宮等の伊勢の PR を行った。

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア推進事業

災害発生時に市と伊勢市社会福祉協議会が関係団体などと協働で運営を行う伊勢市災害ボランティアセンターの運営・設置に関する体制の構築に努めた。

(1) 伊勢市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの策定

災害発生後のボランティアセンター立ち上げに関する設置・運営のマニュアルをつくり、災害ボランティアセンターが設置された際に運用することとした。また、その際のボランティア登録用紙などの様式集も作成した。

(2) 災害ボランティアセンター講習会等の実施

ア 先進地視察

実際に災害ボランティアセンター設置・運営を行ったことのある熊野市を視察した。

- ・日時 平成 24 年 6 月 13 日
- ・場所 熊野市社会福祉協議会
- ・参加者 市職員 2 人、伊勢市社会福祉協議会職員 1 人

イ 講習会の開催

講習会を 3 回開催し、講演会、運営訓練などを行った。

○ 第 1 回講習会（定例会）

- ・日時 平成 24 年 8 月 30 日
- ・場所 ハートプラザみその
- ・参加者 市職員 5 人、伊勢市社会福祉協議会職員 8 人、伊勢市社会福祉協議会実習生 3 人

○ 第 2 回講習会（定例会及び講演会）

- ・日時 平成 24 年 10 月 26 日
- ・場所 ハートプラザみその
- ・講師 いせ市民活動センター副センター長 野村繁幸 氏
- ・参加者 市職員 6 人、伊勢市社会福祉協議会職員 8 人、伊勢ボランティア連絡協議会 19 人

○ 第 3 回講習会（ボランティアセンター運営訓練）

- ・日時 平成 25 年 1 月 16 日
- ・場所 ハートプラザみその
- ・講師 紀宝町社会福祉協議会 山城秀明 氏
- ・参加者 市職員 9 人、伊勢市社会福祉協議会職員 15 人、伊勢市ボランティアセンター運営委員 4 人、ボランティア連絡協議会 20 人、日赤奉仕団 8 人、伊勢市国際交流協会 1 人

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 173 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。
(報償費総額 7,270,000 円)

2 振興助成金事業

市内 173 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	50	19,258	円 2,500,000	円 6,740,300	円 9,240,300
支所管内	71	19,475	3,550,000	6,816,250	10,366,250
二見総合支所管内	10	3,374	500,000	1,180,900	1,680,900
小俣総合支所管内	28	7,446	1,400,000	2,606,100	4,006,100
御園総合支所管内	14	3,573	700,000	1,250,550	1,950,550
合計	173	53,126	8,650,000	18,594,100	27,244,100

3 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金の限度額は、対象事業費に対して3分の2を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ①地域に根ざした伝統文化の継承事業 23 件
 - ②地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業 17 件
 - ③地域内の清掃美化等の環境保全事業 78 件
 - ④補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業 11 件
 - ⑤訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業 17 件
 - ⑥少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業 8 件
 - ⑦住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業 111 件
 - ⑧その他市長が特に必要と認める事業 0 件
- ・平成 24 年度対象自治会 173 自治会
- ①交付申請・決定 8,752 千円 (141 自治会)
 - ②交付確定 8,540 千円 (141 自治会)

4 コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業であり、コミュニティ活動の健全育成を図り、宝くじの普及広報を目的としコミュニティ組織である自治会にコミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 4自治会

交付決定額 5,700千円

自治会名	補助金額(円)	事業名
明野第一・第二自治区	1,100,000	文化・学習活動用備品購入 環境美化用備品購入
新開区	1,300,000	文化・学習活動用備品購入 健康管理用器具購入
六軒屋自治会	1,300,000	祭り用具購入
上條区自治会	2,000,000	文化・学習活動用備品購入 環境美化用備品購入
計	5,700,000	

5 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親睦と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。(補助金 1,430,000円)

6 地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成24年度 地縁団体認可団体数 2団体(累計認可団体数71団体)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会等を行い、地域自治組織である「地区みらい会議」の設立を進めるとともに、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。

また、地域リーダー養成のための研修会や、市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。

(1) 「地区みらい会議」設立状況【14小学校区(13地区) / 24小学校区】

名称	小学校区	設立年月日
厚生地区まちづくりの会	厚生	20. 6. 15
小俣まちづくり協議会	小俣・明野	21. 9. 4
沼木まちづくり協議会	上野	22. 4. 16
明倫地区まちづくり協議会	明倫	24. 4. 1

神社地区まちづくり協議会	神社	24. 5. 29
修道まちづくり会	修道	24. 6. 16
佐八学区まちづくりの会	佐八	24. 11. 1
大湊町未来づくり委員会	大湊	24. 11. 22
四郷地区まちづくり協議会	四郷	24. 12. 19
高城まちづくりの会	今一色	25. 2. 17
進修まちづくりの会	進修	25. 2. 24
浜郷地区まちづくり協議会	浜郷	25. 2. 25
中島学区まちづくり協議会	中島	25. 2. 27

(2) 「地区担当職員」によるまちづくり支援

市と地域とのパイプ役として各小学校区に配置された市職員（地区担当職員）が行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を開催した。

ア 地区担当職員数

課長級職員 76 人

（内訳：中島、厚生、東大淀、二見、御菌学区は各 4 人、小俣・明野学区は 5 人、その他学区は各 3 人）

イ 地区担当者会議

開催日 平成 24 年 4 月 25 日（水）

内 容 ・ 「ふるさと未来づくり」の今後の進め方について
 ・ 各地区の取り組み状況の情報交換
 ・ その他

(3) 広報活動

ケーブルテレビで「ふるさと未来づくり」の概要を伝えるとともに、「広報いせ」でもシリーズで「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」と題して「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(4) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり人材養成講座」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるための知識や手法を習得し、地域に根ざした創造性豊かなまちづくりの推進役となる人材を養成するため講座を開催した。

第1回 「地域づくり全体を学ぶ」

開催日 平成24年10月3日(水)
開催場所 伊勢商工会議所 5階大ホール
講師 四日市大学総合政策学部 岩崎恭典 教授
参加者 自治会関係者 40人

第2回 「地区みらい会議設立に至るまでの経過報告」

開催日 平成24年10月31日(水)
開催場所 伊勢商工会議所 5階大ホール
先進地区報告
明倫地区まちづくり協議会
神社地区まちづくり協議会
修道まちづくり会
コーディネーター
三重中京大学現代法経学部 村林 守 教授
参加者 自治会関係者、地区担当職員 66人

イ 「地域主体の新たなまちづくり講演会」の開催

新たな住民自治の仕組みづくりとしての「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

開催日 平成25年3月12日(火)
開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール
講演 「地域主体の新たなまちづくり ～校区コミュニティを軸とした地域づくり～」
講師 愛知大学地域政策学部 岩崎 正弥 教授
参加者 一般市民、自治会関係者、各種団体、市議会議員、職員等 合計180人

ウ 「ふるさと未来づくり職員研修会」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるにあたり、これまでの地区総括、地区担当の関わりだけでなく一般職員の理解と協力を求めることを目的とし、職員研修会を開催した。

開催日 ①平成24年7月30日(月) 10:00~11:30
②平成24年7月30日(月) 13:30~15:00
③平成24年8月2日(木) 14:00~15:30
④平成24年8月3日(金) 10:00~11:30
開催場所 いせ市民活動センター 北館2階 多目的ホール
内容 (1) 「ふるさと未来づくり」の必要性
四日市大学総合政策学部 岩崎 恭典 教授
(2) 現在の取り組み状況
市民交流課職員
参加者 一般職・管理職ほか546人(4回開催の合計)

(5) 「地区みらい会議」への財政支援

「地区みらい会議」が実施する事務事業の財源として、設立された「地区みらい会議」に対して、ふるさと未来づくり支援補助金を交付した。

・補助金の内容

補助対象経費	補助金額
事務運営費	2,400,000 円
家賃等補助加算額	賃借料相当額（上限 600,000 円）
活動事業費	1,000,000 円

・交付件数：13 件

厚生地区まちづくりの会、小俣まちづくり協議会、沼木まちづくり協議会、明倫地区まちづくり協議会、神社地区まちづくり協議会、修道まちづくり会、佐八学区まちづくりの会、大湊町未来づくり委員会、四郷地区まちづくり協議会、高城まちづくりの会、進修まちづくりの会、浜郷地区まちづくり協議会、中島学区まちづくり協議会

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を平成 23 年度より導入している。

名称	「市民活動補償制度費用保険契約」
保険期間	平成 24 年 6 月 1 日午後 4 時から平成 25 年 6 月 1 日午後 4 時までの 1 年間
契約額	2,354,810 円
適用件数	5 件（傷害補償 4 件、賠償責任補償 1 件）

○ 合併調整関係

1 地域審議会正副会長会議

市民の声を施策に反映させることを目的に合併前の 4 市町村の協議により、各区域を単位に設置している地域審議会の活動状況報告、連絡調整、意見交換の場として正副会長会議を次のとおり開催した。

第 1 回地域審議会正副会長会議

開催日	平成 24 年 8 月 8 日（水）
開催場所	市役所東庁舎 4-2 会議室
協議事項	・伊勢市の防災対策について（危機管理課）

また、地域審議会委員の第3期の任期が、平成24年6月30日で満了となったことから、「広報いせ（5月15日号）」及び市ホームページにより第4期地域審議会委員の公募を行った。

第4期地域審議会委員委嘱状交付式

開催日 平成24年7月5日（木）

内 容：委嘱状の交付

伊勢地区 20名（公募5名）、二見地区 16名（公募1名）

小俣地区 18名（公募1名）、御菌地区 16名（公募1名）

※ 第4期の任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日

戸籍住民課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	53,089 世帯	564 世帯	187 世帯	53,840 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口（平成 25 年 3 月 31 日現在）

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	62,166 人	381 人	62,547 人
	女	68,942	569	69,511
	計	131,108	950	132,058

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況

区 分		件 数
届 出	転 入	2,685 件
	転 出	3,435
	転 居	2,327
	世 帯 変 更	1,380
	そ の 他	25
職 権	出 生	995
	死 亡	1,479
	職 権 消 除	91
	修 正	582
計		12,999

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍及び本籍人口（平成25年3月31日現在）

戸籍数	62,298 戸籍
本籍人口	152,529 人

（注）伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	合計
出生	802 件	447 件	1,249 件
婚姻	523	869	1,392
離婚	215	142	357
死亡・失踪	1,249	374	1,623
養子縁組	68	35	103
養子離縁	11	11	22
国籍の得喪・留保	8	27	35
本籍表示の変更	254	273	527
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	316	131	447
上記以外で身分に変更が生じるもの	25	10	35
訂正・追完	110	8	118
不受理申出	11	7	18
その他	3	2	5
計	3,595	2,336	5,931

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	838 件
戸籍全部消除	985
通知違反	11
その他	0
計	1,834

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	男	女	不 詳	計
出 生	561 件	528 件	0 件	1,089 件
死 亡	741	751	0	1,492
死 産	15	2	14	31
婚 姻				630
離 婚				257
合 計				3,499

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,492 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不 詳	計
15 件	2 件	14 件	31 件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	合 計
埋 葬	0 件	0 件	1 件	1 件
火 葬	1,095	1	21	1,117
計	1,095	1	22	1,118

(8) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	324 件
民事関係通知	29
身元事項照会	2,631
計	2,984

(注) 伊勢市総数

3 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事業所等	計
90 件	3 件	8 件	101 件

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料 (件)	無 料 (件)	計 (件)	収入金額 (円)	
住 民 票 の 写 し	本庁	30,002 (4,701)	4,581	34,583 (4,701)	6,000,400	
	支所	9,982	0	9,982	1,996,400	
広域交付住民票の写し	本庁	37	0	37	7,400	
	支所	3	0	3	600	
戸籍の附票の写し	本庁	1,752	3,658	5,410	350,400	
	支所	422	0	422	84,400	
住民票記載事項証明	本庁	976	26	1,002	195,200	
	支所	379	26	405	75,800	
住民基本台帳カード	本庁	444	48	492	222,000	
	支所	0	0	0	0	
住民基本台帳閲覧	本庁	169	7	176	33,800	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	23,425 (9,165)	67	23,492 (9,165)	4,685,000	
	支所	10,450	50	10,500	2,090,000	
諸証明	身分証明	本庁	860	0	860	172,000
		支所	202	0	202	40,400
	その他	本庁	263	25	288	52,600
		支所	29	0	29	5,800
外国人登録関係証明	本庁	154 (28)	39	193 (28)	30,800	
	支所	4	0	4	800	
合 計	本庁	58,082 (13,894)	8,451	66,533 (13,894)	11,749,600	
	支所	21,471	76	21,547	4,294,200	
	計	79,553 (13,894)	8,527	88,080 (13,894)	16,043,800	

(注1) () は自動交付機による内数

(注2) 閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

(注3) 外国人登録関係証明は、法改正以前(平成24年7月8日)までの数

(2) 住民基本台帳の閲覧団体数 26団体

(3) 住民基本台帳事務における支援措置者数（平成 25 年 3 月 31 日現在）

（ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置）

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	12 名	13 名	25 名
他市からの支援要請	15	23	38
計	27	36	63

（注） 住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止の対象者

(4) 印鑑登録数（平成 25 年 3 月 31 日現在） 88,003 件(伊勢市総数)

(5) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	4,658 件
	そ の 他	0
	計	4,658
減	廃 止	363
	亡 失	1,593
	死 亡	1,291
	転 出	1,295
	そ の 他	328
	計	4,870

(6) 住居表示・住所表示関係証明件数 38 件

(7) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
329 件	3 件	332 件	164,500 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収入金額（円）
			有 料（件）	無 料（件）	計（件）	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,916	3,332	14,248	4,912,200
		支所	2,724	1	2,725	1,225,800
	個人事項 (抄 本)	本庁	3,699	336	4,035	1,664,550
		支所	1,355	0	1,355	609,750
	一部事項	本庁	7	2	9	2,450
		支所	0	1	1	0

戸籍	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	3	0	3	1,050
	計	本庁	14,622	3,670	18,292	6,579,200
		支所	4,082	2	4,084	1,836,600
		計	18,704	3,672	22,376	8,415,800
除籍 改製原戸籍	全部事項 (謄本)	本庁	9,557	4,650	14,207	7,167,750
		支所	2,138	1	2,139	1,603,500
	個人事項 (抄本)	本庁	69	291	360	51,750
		支所	26	0	26	19,500
	一部事項	本庁	2	0	2	900
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	9,628	4,941	14,569	7,220,400
		支所	2,164	1	2,165	1,623,000
		計	11,792	4,942	16,734	8,843,400
	受理証明等	本庁	170 (4)	0	170 (4)	63,700 (5,600)
支所		4 (2)	0	4 (2)	3,500 (2,800)	
届書記載事項証明	本庁	86	1	87	30,100	
	支所	19	0	19	6,650	
閲覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
合計	本庁	24,506 (4)	8,612	33,118 (4)	13,893,400 (5,600)	
	支所	6,269 (2)	3	6,272 (2)	3,469,750 (2,800)	
	計	30,775 (6)	8,615	39,390 (6)	17,363,150 (8,400)	

(注) () は、特別受理証明書(上質紙使用)の内数

3 外国人登録関係

(1) 外国人登録事務状況(伊勢市総数)

異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)
入 国	131	登 録 証 再 交 付	1	帰 化	2
出 生	0	登 録 内 容 変 更	169	死 亡	2
日 本 国 籍 離 脱	0	転 居	20	転 出	61
転 入	50	出 国	44	確 認	28
登 録 証 引 替	5	国 籍 取 得	0	そ の 他	0

(注) 外国人登録事務状況は、法改正以前(平成24年7月8日)までの数

(2) 外国人登録者国籍別在籍人員(平成24年7月8日現在 伊勢市総数)

外国人登録者総数 993人(男 404人、女 589人)

世帯数 781世帯

国 籍	男 (人)	女 (人)	計 (人)
オーストラリア	2	1	3
ボリビア	1	0	1
ブラジル	113	66	179
ミャンマー	1	1	2
カナダ	3	1	4
スリランカ	1	0	1
中国	130	298	428
アイスランド	0	1	1
インドネシア	3	2	5
アイルランド	2	0	2
イタリア	1	1	2
ジャマイカ	1	2	3
朝鮮	5	6	11
韓国	76	97	173
マレーシア	0	2	2
メキシコ	1	0	1
ネパール	16	7	23
オランダ	2	0	2
パキスタン	3	1	4
ペルー	4	5	9
フィリピン	10	55	65
ルーマニア	1	1	2

ロシア	2	1	3
スペイン	2	1	3
シンガポール	0	2	2
タイ	1	29	30
英国	6	1	7
米国	17	5	22
ベトナム	0	2	2
アンティグア・バーブーダ	0	1	1

4 特別永住者関係

(1) 特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)
許 可	1	再 交 付 (換 希 望)	0
証交付 (法施行前未取得)	0	再 交 付 (紛 失)	3
証 交 付 (切 替)	5	有 効 期 間 更 新	1
再 交 付 (汚 損 等)	1	記 載 事 項 変 更	1

(注) 特別永住者事務状況は、法改正以降（平成 24 年 7 月 9 日～）の数

5 郵送請求処理件数

区 分	有料 (件)	無料 (件)	返 戻 (件)	取扱件数 (件)
戸 籍 関 係 証 明	(7,232)	(4,798)	119 (諸証明関係含む)	12,149
住 民 票 関 係 証 明	(4,085)	(4,264)	170	8,519
外 国 人 登 録 関 係 証 明	(3)	(25)	0	28
諸証明関係(身分証明等)	(355)	(9)		364
計	(11,675)	(9,096)	289	21,060

(注 1) () は「1. 住民関係」及び「2. 戸籍関係」の内数

(注 2) 外国人登録関係証明は法改正以前（平成 24 年 7 月 8 日）までの数

6 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、隊員募集案内ポケットティッシュ作製や懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報など、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から 25 名（陸上自衛隊 20 名、航空自衛隊 3 名、海上自衛隊 2 名）の入隊者があった。

○ 支所関係

1 戸籍関係手数料調定事務等

各支所との連絡調整のほか、支所で取り扱う戸籍関係手数料の調定を行った。

また、市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍手数料	(1,009) 567,050	(532) 288,400	(846) 459,000	(405) 215,450	(935) 528,150
住民基本台帳 関係手数料	(1,637) 327,400	(923) 184,600	(1,886) 377,200	(881) 176,200	(1,303) 260,600
印鑑証明手数料	(1,248) 249,600	(820) 164,000	(1,637) 327,400	(902) 180,400	(1,437) 287,400
諸証明手数料	(37) 7,400	(17) 3,400	(33) 6,600	(18) 3,600	(43) 8,600
外国人登録関係 証明	(0) 0	(2) 400	(0) 0	(0) 0	(0) 0
計	(3,931) 1,151,450	(2,294) 640,800	(4,402) 1,170,200	(2,206) 575,650	(3,718) 1,084,750

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合 計
戸籍手数料	(853) 467,950	(739) 404,800	(709) 408,400	(241) 130,550	(6,269) 3,469,750
住民基本台帳 関係手数料	(1,469) 293,800	(1,398) 279,600	(872) 174,400	(417) 83,400	(10,786) 2,157,200
印鑑証明手数料	(1,545) 309,000	(1,354) 270,800	(984) 196,800	(523) 104,600	(10,450) 2,090,000
諸証明手数料	(29) 5,800	(24) 4,800	(12) 2,400	(18) 3,600	(231) 46,200
外国人登録関係 証明	(0) 0	(2) 400	(0) 0	(0) 0	(4) 800
計	(3,896) 1,076,550	(3,517) 960,400	(2,577) 782,000	(1,199) 322,150	(27,740) 7,763,950

(注1) 証明係関係「住民票関係の交付等の状況」及び「戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(注2) 上段は件数、下段は金額(円)

○ システム更新業務関係

1 戸籍情報システム更新業務

これまでの戸籍情報システムは、平成12年4月に旧伊勢市において戸籍業務を電算化し、再リースや機器・システムの更新を行ってきたが、サーバー機器の保守サポート終了期限を迎えることにあわせ、今後の法改正に対応するシステムへ更新した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
本庁舎、 各総合支所（3か所）、 各支所（9か所）	伊勢市戸籍情報システム更新業務委託	戸籍情報システムの構築及び更新に係る業務	円 48,077,925	24. 3. 30	24. 9. 28

2 住民票等自動交付機システム更新業務

住民票等自動交付機システムを住民基本台帳法の改正に対応するため、新たなシステムの導入と構築を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
本庁舎、 各総合支所	伊勢市住民票等自動交付機システム更新業務委託	住民票等自動交付機システムの構築及び更新に係る業務	円 51,975,000	24. 1. 25	24. 8. 7

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内	(注) 二見総合支所自動交付機スペース改修工事	ハンガードア設置 一式 パーテーション設置 一式 外構工事 一式	円 1,296,750	24. 9. 10	24. 10. 24

(注) 建築住宅課施行

○ 緊急雇用対策関係

1 伊勢市住居表示調査および電子データ作成業務

現在、紙ベースで管理している住居表示台帳は、現況と差異が生じている箇所もあり事務に支障をきたしている。現状を調査し、データ化することにより、適正且つ効率的な管理を行う。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市役所 戸籍住民課	伊勢市住居表示調査および電子データ作成業務委託 (震災等緊急雇用対応事業)	住居表示台帳の更新及びデータ化	円 12,358,500	24. 7. 4	25. 2. 28

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
24. 6. 7	総会	平成23年度事業報告、決算報告の承認 平成24年度事業計画（案）、予算（案）の承認 場所 市役所東庁舎4-3会議室	
7. 11	幹事会	委員会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
7. 23	委員会	人権尊重啓発ポスター募集事業、人権セミナー、 人権講演会、街頭啓発について 場所 御菌公民館 講堂	
8. 1 ～12. 16	人権尊重啓発ポ スター募集事業	市内小中学校児童生徒から425点の応募 市長賞9点、会長賞101点 11. 27～12. 4まで伊勢図書館において展示 12. 6～13まで小俣図書館において展示 12. 14～16まで生涯学習センターいせトピアにお いて展示 12. 16生涯学習センターいせトピアにおいて表彰	広報いせ8.1号 にて公募
9. 6	第1回 人権セミナー	「差別表現から人権問題を考える」～差別語と表 現の自由～ 講師 三重県人権センター相談課 課長 勝田 文生 氏 場所 ハートプラザみその	参加者37名
11. 13	第2回 人権セミナー	「私を護るために」～成年後見制度を活用する～ 講師 NPO法人三重県成年後見サポートセン ター 副理事長 稲森 たね 氏 場所 ハートプラザみその	参加者31名

11. 20 ～12. 10	人権パネル展等	市役所本館1階市民ホール及び各総合支所にて人権パネル展を開催 生涯学習センターいせトピア及び市役所において懸垂幕を掲出 市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲示	
11. 17 ～12. 10	人権週間催し告知等	広報いせ、伊勢市ホームページへの掲載 iTV文字放送、行政チャンネル放送にて催しの告知	
12. 4	街頭啓発	12. 4～10の人権週間に合わせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、市内ショッピングセンター等にて協議会委員による啓発物品配布等の啓発活動を実施	参加者30名 配布数1,020個
12. 10	第3回 人権セミナー	「今の子どもを取りまく状況」 講師 伊勢市学校教育課 主幹兼指導主事 籠谷 芳行 氏 場所 ハートプラザみその	参加者21名
12. 16	人権講演会	「生命の尊さを見つめよう」～大人と子ども、同じ輪の中に～ 講師 山田 パンダ 氏 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者200名
25. 2. 8	第4回 人権セミナー	「悪徳商法の予防と対処方法」 講師 三重県消費生活センター 相談員 白川 久美子 氏 場所 ハートプラザみその	参加者30名
3. 21	幹事会	委員会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎5-2会議室	
3. 27	委員会	平成24年度事業報告及び決算見込 平成25年度事業計画（案）及び予算（案） 場所 市役所東庁舎4-3会議室	
随時	人権啓発冊子等 発行	人権ハンドブックN0.14（北朝鮮による日本人拉致問題）	1,000部作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館が中心となって作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げ、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレットの作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用シャープペンシルと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口等で配布した。	パンフレット 2,600枚 シャープペンシル 3,200本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権問題13項目を簡潔にまとめた啓発用パンフレットを作成した。	パンフレット 3,300枚

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館 運営事業費	33,692,779 円	31,163,474 円	21,113,000 円	12,579,779 円

2 事業内容

事業区分		館別		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		
相談 事業	人権相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職業相談	4	4	13	13	0	0	17	17		
	教育相談	1	1	1	1	1	1	3	3		
	福祉相談	4	4	3	3	2	2	9	9		
	生活相談	6	6	21	21	4	4	31	31		
	健康相談	4	4	1	1	0	0	5	5		
	その他相談	22	22	1	1	2	2	25	25		
講座	福祉介護講座	6	98	—	—	3	58	9	156		
	成人学習講座	6	166	—	—	4	140	10	306		

○ 非核・平和推進関係

1 非核・平和第34回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成24年8月18日・19日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第34回空襲展実行委員会の一員として、空襲展を開催した。

当課の企画として、原爆と人間パネル展と折り鶴コーナーを企画し実施した。

主な催し物・・・講演会、映画、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

非核・平和第34回空襲展を前に、原爆被爆の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴えるポスター展を7月23日から8月3日まで市役所本館1階市民ホールと二見総合支所で、8月3日から8月10日まで小俣総合支所と御菌総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(12校×1,200枚)

また、市役所本館1階市民ホールにおける原爆被災ポスター展、非核・平和第34回空襲展の折り鶴コーナーでも活用した。

4 日本非核宣言自治体協議会

非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守るとは自治体の責務であるとの考えから、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけるほか、平和の尊さを訴えている日本非核宣言自治体協議会の趣旨に賛同し加盟している。協議会は、核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーン等を行っているが、当課としても協調し啓発活動を行った。

(非核宣言自治体数 1,789 自治体 うち協議会会員自治体数 282 自治体：平成24年4月現在)

○ 人権学習関係

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題としてその解決にさらに努められるよう広報啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会の組織化

小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めている。

新たに、豊浜東小学校区において設立し、結成団体数は21団体から22団体となった。各協議会は各町の自治会長(区長)、民生委員、人権擁護委員、学校関係者などが委員となり、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。

2 第7回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、平成24年7月26日、井上浩義さん（慶応義塾大学医学部教授）を講師に招き、いせトピアで開催し、300人の参加を得た。震災・原発事故と人権をテーマにしたリーフレット vol.15 を発行した。

3 同和問題地域啓発推進事業

市内3地域（自治会）を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を受けた後、推進委員がリーダーとなって各地域で啓発活動を2回行い、最後に全員で報告会を実施した。

合同研修は下記のとおり行った。

	開催日	内 容
第1回	24. 7. 10	事業概要説明 同和問題について懇談
第2回	8. 21	同和問題について学習（グループ討議） 講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第3回	9. 25	同和問題について学習（グループ討議） 講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第4回	10. 20	フィールドワーク 懇談
第5回	10. 30	全体討議 グループ討議
第6回	11. 13	講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第7回	12. 8 ～16	各自治会での地域啓発活動（第1回目：詳細は一覧のとおり）
第8回	25. 1. 12 ～15	各自治会での地域啓発活動（第2回目：詳細は一覧のとおり）
第9回	3. 12	各地区から地元啓発（第7回・第8回）の報告 懇談 各推進委員からの感想 担当者からの感想

地域啓発活動は、次のとおり実施した。

自治会名	推進委員	開催日	内 容	参加人員
二見町西区	柏端弘三さん 福井萬郎さん 木村鐵夫さん	24. 12. 8	同和問題に関する講演と懇談	35人
		25. 1. 13	〃	36
二見町今一色区	濱條清子さん 牛場喜久さん 中村興理さん	24. 12. 16	〃	27
		25. 1. 15	〃	42
御菌町小林区	北川幸博さん 藤井孝夫さん 中田好茂さん	24. 12. 15	〃	23
		25. 1. 12	〃	24

4 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成24年12月16日、山田パンダさん（ミュージシャン・子どもサポーター・市民科先生）を招き、いせトピアで開催し、200人の参加を得た。子どもの権利条約についてのリーフレット vol. 16 を発行した。

環 境 課

○ 環境全般

1 「伊勢市環境基本計画」の進捗管理

環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「伊勢市環境基本計画」にて掲げた“めざす姿”の実現のため、施策の取組状況や8つの重点事業の実績などの進捗状況について、伊勢市環境審議会へ報告し、意見をいただいた。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者10人

学識経験を有する者1人

その他市長が必要と認める者8人

会 長：朴恵淑（三重大学理事・副学長）

副会長：深草正博（皇學館大学教育学部長）

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。全庁的に取り組む施策と本庁、各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量の削減に取り組み、グループウェア掲示板において取り組み実績を周知し、意識啓発に努めた。

可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量（ガソリン）については、年度当初の目標を達成したが、事務用紙使用量、公用車燃料使用量（軽油）については、達成できなかった。

特に夏季の節電については、昨年度に引き続きクールビズを前後1か月間延長するなど重点的に取り組んだ。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業

生活排水対策やごみ減量化対策等を市民に周知し、また、いろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成24年10月21日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市まちづくり市民会議環境分科会と市の協働で環境フェアを開催した。今年度は、電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会に参画する事業者にご協力いただき、クリーンエネルギー自動車の展示なども行い、市民にクリーンエネルギー自動車について関心を持っていただくきっかけづくりをした。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の「2012福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g」と同時開催。

（2）伊勢市まちづくり市民会議環境分科会

伊勢市まちづくり市民会議環境分科会において、市民との協働により、環境保全の取組を行った。なお、伊勢市まちづくり市民会議は平成24年7月12日に行われた全体会において解散が決定した（平成25年3月31日解散）ことから、平成25年度以降も継続して事業を行えるよう、後継組織の立ち上げについて検討を行った。

平成 24 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
24. 4. 29	厚生地区ふれあいまつり	生活排水対策の啓発のため、アクリルたわしづくりのブースを出展した。	
24. 5. 27	伊勢市駅前 ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化の意識啓発のため、伊勢市駅前周辺を早朝清掃した。	参加者 約 400 人
24. 6. 14 24. 9. 25	環境出前講座	環境意識の啓発のため、環境分科会参加者が講師となり、小中学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 (テーマ) 24. 6. 14 アクリルたわしづくり 24. 9. 25 水生生物による水質調査	受講者 24. 6. 14 明倫小学校 4 年生 74 人 24. 9. 25 城田小学校 4 年生 60 人
24. 7. 1	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、勢田川清掃を実施した。	参加者 約 2,500 人
24. 7. 4 25. 1. 29	勢田川浄化実験事業	勢田川の浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。	参加者 24. 7. 4 116 人 25. 1. 29 106 人
24. 8. 10	水生生物による 水質調査	水環境に親しむきっかけづくり及び水質浄化意識の啓発のため、小中学校児童らと水生生物の生息状況により、水質を調べた。	市内小学校児童 参加人数 24 人
24. 10. 21	環境フェア	環境意識の啓発のため、体験ブース等を出展した。	来場者約 20,000 人
24. 10. 21	ごみゼロポスター コンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	応募総数 926 作品 受賞者 計 66 人
24. 12. 2	みえ環境フェア	メッセージング・みえにおいて、三重県地球温暖化防止活動推進センターの主催により開催され、環境意識の啓発のため、アクリルたわしづくりの体験ブースと活動写真展示の出展をした。	来場者約 160 人 (ブース)
25. 1. 6	いせトピア新春まつり	ごみの減量・分別の啓発をするため、ブースの出展をした。	来場者約 200 人 (ブース)
25. 2. 17	エコクッキング	生ごみを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 21 人

(3) 環境ミーティング～大学生と語る伊勢の環境～

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結しており、環境ミーティングは、連携協定のスターティングプロジェクトに位置付けられている。

平成 24 年度で 5 回目となり、平成 25 年 2 月 21 日（木）に「電気自動車（EV）の活用」をテーマに開催し、EV 等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会に参画する事業者の協力のもと電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）を実際に見て、普及策等について、意見交換会を行った。

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 伊勢市地球温暖化防止実行計画の策定

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、区域としての温室効果ガスの排出抑制等を進める計画として、平成 24 年 12 月 19 日に「伊勢市地球温暖化防止実行計画」を策定した。

- ・環境審議会

諮問：平成 23 年 5 月 9 日

答申：平成 24 年 10 月 9 日

- ・パブリックコメント

期間：平成 24 年 9 月 10 日から 10 月 9 日

意見：1 名、3 件

2 太陽光発電普及促進事業

平成 23 年度までは住宅用にも補助を行ってきたが、再生可能エネルギー導入に対する市民意識の高まり、また、平成 24 年 7 月からの新しい電力買取制度の導入を受け、平成 24 年度より、補助の対象を事業所等へも広げ、さらなる太陽光発電システムの普及促進を行った。

なお、平成 24 年度分として 395 件の申請を受け付けたが、年度内に完了しなかった 60 件については、繰越し対応とした。

	補助金額	交付件数	交付額
平成 23 年度からの繰越分	円/件 60,000	件 21	円 1,260,000
平成 24 年度事業	60,000	335	20,100,000
計		356	21,360,000

	補助金額	交付件数	繰越額
平成 25 年度への繰越分	円/件 60,000	件 60	円 3,600,000

3 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及といった自動車本体に関する対策とともに、自動車の使用に関する対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、JAFと連携し講習会を開催した。

職員対象・・・平成24年7月4日（水）	15人
平成25年3月6日（水）	15人
市民対象・・・平成24年8月29日（水）	11人
平成24年12月5日（水）	4人

4 生ごみ等のバイオガス利用の検討

平成19年度策定した「伊勢市地域新エネルギービジョン」において、「バイオマス（生ごみ）活用事業」を重点事業として位置付け、平成21年度からは伊勢商工会議所においてエネルギー原料として活用する方法が検討され、環境課職員も研究会の一員として参加し、事業化の検討をしてきた。

平成22年10月、伊勢商工会議所環境委員会生ごみ（新）エネ研究会において、「生ごみの資源化（バイオガス化）について 研究報告書」がまとめられ、それを受け、市として事業化の是非等について検討を行った。

現状においては、資源化施設の建設の他、現焼却施設においても多額の改修費を要することから事業化の好期とは言えず、実施は困難であるが、将来的には、現焼却施設の後継施設建設の検討が控えており、また、国・県等の支援策やエネルギー政策についても大きな方針転換の可能性もあることから、事業化を判断するための前提条件の変化に注視することとした。

5 エネルギー教育

（1）事業者におけるエネルギー教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、ノウハウが蓄積されていることから、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、平成23年9月30日、京セラ株式会社三重伊勢工場及び中部電力株式会社と環境教育に関する協定書を締結しており、今年度においては市内の小中学校向けに環境出前講座を実施していただくなど、ご協力をいただいた。また、平成25年度も引き続き協定の延長をすることを確認した。

【平成24年度授業実績】

- ・京セラ株式会社三重伊勢工場（8校、619人）
- ・中部電力株式会社（1校、26人）

（2）エネルギー教育促進事業

市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限2万円で支援を行った。グリーンカーテンの設置や、省エネルギー啓発ポスターの作成など、全36校において実施された。

6 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の設立

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」の採択を受け、平成24年8月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」（以下「協議会」という。）を設立した。

本協議会は、行政、事業者、市民等の様々な参画者が将来像や目標を共有しながら、参画者自らが主体となり、市民だけでなく、伊勢市を訪れる人にとっても便利に移動できる低炭素社会の実現に向けて取り組むこととしている。

平成24年度は、協議会4回、5つのワーキンググループを各5回の運営を行い、次年度以降の具体的な取組みとして、行動計画「おかげさまAction!」の策定を行った。

7 100万人のキャンドルナイト伊勢

100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊において、勢田川の沿岸に約1万個のキャンドルを灯し、勢田川に対して親しみを持っていただくとともに、浄化意識を高めていただくことを目的として、「100万人のキャンドルナイト伊勢～勢田川を天の川に～」を実施した。また、二酸化炭素排出量削減のため、見に来ていただく際には、自宅等の消灯を呼びかけた。

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。下水道事業認可区域内については、平成13年度より市単独補助を行っている。

区分		下水道事業認可区域外			下水道事業認可区域内			計	
種類	人槽	補助金 限度額	交付 基数	交付額計	補助金 限度額	交付 基数	交付額計	交付 基数	交付額計
一般	5	千円/件 332	基 203	千円 67,396	千円/件 110	基 21	千円 2,310	基 224	千円 69,706
	7	414	122	50,508	138	9	1,242	131	51,750
	10～50※	548	11	6,028	182	0	0	11	6,028
高度	5	444	20	8,880	—	—	—	20	8,880
	7	486	4	1,944	—	—	—	4	1,944
	10～50	576	1	576	—	—	—	1	576
合計		—	361	135,332	—	30	3,552	391	138,884

※下水道事業認可区域内においては11人槽以上は補助対象外

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、三重県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行っている調査結果を、伊勢市のホームページにて周知を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の汚濁状態を把握するため、河川や海域の水質を調査した。

(1) 平成24年度調査実施状況

区分	河川水質 (12河川)	海域水質	幹線排水路 水質
地点	31	7	5
項目	19	6	19
回数	1~12	4	1~4

(2) 河川BOD経年変化

年 度	19	20	21	22	23	24	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
宇治橋 (五十鈴川)	0.9	0.7	0.5	0.5	▲1.6	0.9	1 mg/l 以下
堀割橋 (五十鈴川)	1.1	0.8	0.8	0.6	1.7	1.3	2 mg/l 以下
勢田大橋 (勢田川)	4.1	4.1	2.9	3.1	3.6	5.0	5 mg/l 以下
度会橋 (宮川)	0.6	0.6	0.5	0.7	0.5	▲1.1	1 mg/l 以下
大野橋 (外城田川)	2.1	1.6	1.4	2.0	2.2	2.1	3 mg/l 以下
豊浜橋 (外城田川)	1.5	1.6	1.4	1.4	2.7	3.1	5 mg/l 以下
有滝橋 (江川)	0.9	0.8	0.6	0.6	1.9	1.7	—
大堀川橋 (大堀川)	1.5	1.6	1.3	1.2	2.1	1.8	—
野垣外橋 (汁谷川)	1.6	1.1	1.1	1.4	1.7	1.9	—
鮫川 (上流)	—	—	—	21.2	13.0	29.0	—
鮫川 (下流)	—	—	—	21.4	4.8	10.0	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は75%値。

(3) 海域COD経年変化

年 度	19	20	21	22	23	24	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
東 大 淀 沖	1.2	1.1	1.2	1.9	0.7	0.6	2 mg/l 以下
村 松 沖	0.8	1.2	1.3	1.6	0.7	0.6	3 mg/l 以下
豊 北 漁 港	1.0	1.1	1.4	1.7	0.5 未満	0.6	3 mg/l 以下
大 湊 沖	0.7	1.1	1.6	1.3	0.5 未満	0.6	3 mg/l 以下
宇 治 山 田 港	0.8	0.7	1.1	1.6	0.5 未満	0.6	3 mg/l 以下
宇 治 山 田 港 沖	0.6	1.0	1.0	1.8	0.5 未満	0.7	3 mg/l 以下
笹 笛 川 地 先	0.9	1.4	1.5	1.6	0.5 未満	0.5 未満	3 mg/l 以下

(注) 数値は75%値

3 騒音・振動調査

(1) 環境騒音・道路交通振動調査

伊勢市内における騒音及び振動の現状を把握し、環境の保全を図るため環境騒音・道路交通振動の測定を実施した。

平成24年度調査実施状況については以下のとおりである。

区分	一般環境騒音	道路交通騒音	道路交通振動
地点数	5	3	1
基準適合地点	3/5	1/3	1/1

(2) 自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務

騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、伊勢市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施した。

環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策へ反映を図る資料とする。

平成 24 年度騒音調査結果については以下のとおりである。

路線名	測定地点	時間区分	等価騒音レベル (d B)	環境基準 (d B)
一般国道 23 号線	伊勢市小木町	昼間	67	70
		夜間	60	65
伊勢自動車道	伊勢市勢田町	昼間	65	70
		夜間	54	65
一般国道 23 号線	伊勢市常磐 2 丁目	昼間	67	70
		夜間	58	65

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の現状を把握し、公害防止を図るため臭気測定を実施した。

平成 24 年度は 2 か所 8 地点で測定した。臭気指数はすべて 10 未満であり、参考基準値の臭気指数 15 を下回った結果になった。

5 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、平成 24 年度の苦情処理結果は、大気汚染 27 件、水質汚濁 6 件、騒音 9 件、悪臭 10 件、振動 0 件、土壌汚染 0 件、廃棄物投棄 36 件、合計 88 件であった。

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出受理業務を行った。

特定施設に関する設置等の届出については、以下のとおりである。

区分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法		4 件	8 件
水質汚濁防止法		12	9
騒音規制法		0	1
振動規制法		0	0
三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	1	1
	粉じん	0	0
	騒音	9	0
	振動	2	0
	揚水設備	0	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		28	19

特定建設作業に関する届出については、以下のとおりである。

区 分	法律	条例
騒 音	件 25	件 7
振 動	13	3
計	38	10

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、公共施設等の煙霧消毒（動力2兼機11台保有）を行った（実施件数 8件）。

また、希望する一般市民にハチ防護服貸出を行った（実施件数 51件）。

2 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合への補助金に替わる支援策として、風呂の日における集客用の物品支援を行った。（支援先：8公衆浴場）

実施日	物品	購入額
風呂の日（5月26日）	トイレットペーパー 600個	円 68,092
	ボックスティッシュ 880個	
風呂の日（9月26日）	トイレットペーパー 600個	68,092
	ボックスティッシュ 880個	
風呂の日（2月26日）	トイレットペーパー 600個	68,092
	ボックスティッシュ 880個	
計	—	204,276

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行った。

平成24年度 補助件数：2件 補助金額：371,000円

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、管理を行った。

(1) 業務委託

管理業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

委 託 名	委 託 先	委 託 料
大 世 古 墓 地 管 理	北村日出子	円 156,000
大 湊 墓 地 管 理	大湊町老人クラブ寿会	420,000
小 俣 若 山 墓 地 管 理	(公社)伊勢市シルバー人材センター	385,560
墓 地 管 理 シ ス テ ム 機 器 保 守 点 検 委 託	(株)松阪電子計算センター	176,400
墓 地 管 理 シ ス テ ム 改 修 業 務 委 託	(株)松阪電子計算センター	86,625
計	—	1,224,585

(2) 貸借業務

墓地管理システム及び駐車場を貸借し、利用者の利便を図った。

賃 借 名	賃 借 先	賃 借 料
墓地管理システム賃借料	(株)松阪電子計算センター	円 75,390
墓 地 駐 車 場 賃 借 料 (小俣若山墓地)	(有)西井建設	240,000
計	—	315,390

(3) 新規貸付区画

平成22年度から新規貸付を開始した大世古墓地を含め、返還された空き区画の有効活用を図った。

墓 地 名	平成24年度貸付区画面数	残区画面数
大世古墓地	8	10
大湊墓地	1	24
小俣若山墓地	17	3
計	26	37

※残区画面数：平成25年3月末時点

2 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓 地 名	事 業 費	補 助 金	摘 要
灰之木原墓地	1,340,000	446,000	通路及び落石防護工事
上野町海蔵寺護持会墓地	79,750	26,000	清掃用具庫の設置
佐八町墓地	483,000	161,000	参道の改修
新高向共同墓地	239,050	79,000	排水及び焼香場の補修工事
西之坂共同墓地	325,000	108,000	墓地内参道の改修
朝熊町墓地	49,350	16,000	階段ひび割れの補修
浦口町墓地	323,400	107,000	ゴミ集積所の整備
一誉坊墓地	3,199,140	1,066,000	参道の改修
計	6,038,690	2,009,000	

3 墓地等経営許可関係

墓地、埋葬等に関する法律に基づく、墓地等の経営許可等に関する事務を下記のとおり行った。

(平成 24 年 4 月 1 日三重県から権限移譲)

手続内容	墓地名	許可日
墓地の廃止	カトリック京都司教区伊勢教会墓地	24. 5. 17

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施している。飼い犬管理システムによる情報管理を行い、平成 25 年 3 月 31 日現在の登録件数は 8,965 頭の登録がある。なお、平成 24 年度の新規登録件数は 578 頭、狂犬病予防注射件数 5,617 頭（うち獣医師等による接種頭数 3,883 頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	合 計
助成額	3,000 円/件	4,000 円/件	2,500 円/件	3,500 円/件	—
交付件数	87 件	102 件	177 件	252 件	618 件
交付額計	261,000 円	408,000 円	442,500 円	882,000 円	1,993,500 円

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、明和町、玉城町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務を衛生的、効率的に行った。

1 平成 24 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	し 尿	斎 場	計	
共 通 経 費	千円 2,715	千円 446	千円 3,161	平等割 10% 加入事務数割 90%
運 営 経 費	187,765	30,859	218,624	実績割 100%
建 設 経 費	21,548	8,278	29,826	平等割 10%、人口割 90%
公 債 費	13,513	—	13,513	元利補給金
合 計	225,541	39,583	265,124	

2 平成 24 年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市	他町 (玉城町・度会町)	計
4	0 3,619,600	0 801,190	0 4,420,790
5	3,906,490	1,010,070	4,916,560
6	4,602,940	953,970	5,556,910
7	4,070,840	919,870	4,990,710
8	3,690,830	811,420	4,502,250
9	3,246,360	796,800	4,043,160
10	4,055,930	901,530	4,957,460
11	3,518,990	744,920	4,263,910
12	4,306,420	851,390	5,157,810
1	3,503,400	692,710	4,196,110
2	3,913,690	734,880	4,648,570
3	4,383,130	878,870	5,262,000
合計	46,818,620	10,097,620	56,916,240

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	22 年度	23 年度	24 年度
伊勢市	K0 51,259	K0 48,442	K0 46,818
他町 (玉城町・度会町)	10,157	10,507	10,097
計	61,416	58,949	56,916

(表中の数値については 1,0000 未満切り捨て)

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 28 台

4 平成 24 年度斎場利用状況

区 分	伊勢市	管内他町 (明和町・玉 城町・度会町)	管外	計
12 歳以上の者	件 1,443	件 476	件 73	件 1,992
12 歳未満の者	2	0	3	5
死 産 児	23	3	6	32
合 計	1,468	479	82	2,029
胞衣汚物				51
霊安室利用				10

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	22 年度	23 年度	24 年度
伊勢市	件 1,406	件 1,470	件 1,468
管内他町 (明和町・玉城町・ 度会町)	469	477	479
管外	75	83	82
計	1,950	2,030	2,029

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 啓発事業

ア. 広報いせ（毎月1日号）による啓発

「めざせ！ごみゼロのまち」コーナーによりごみの分け方・出し方を周知し、また、時期に応じて排出されるごみに着目した記事により適正排出を啓発した。

イ. 自治会に対する説明会等の開催

市民が排出した燃えるごみの組成調査結果等から燃えるごみとして排出されるごみの組成及び資源物の混入など分別状況について全自治会を対象に回覧または、説明会を開催し、地域での分別意識向上を図った。

ウ. ごみの処理工程・状況を示すための情報収集

市民が分別・排出したごみの処理工程・状況を視覚的に把握することができ、ごみを分別することの意義の理解を深めやすくするため、実際に処理が行われている工場にて情報収集を行った。

(2) 調査事業

ア. 生活系ごみ組成調査

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

イ. 燃えるごみ集積化に関する実態調査

平成21年7月に策定した「ごみの収集方法等の統一に関する基本方針」に掲げた「燃えるごみの集積化」による効果等を把握するため、全自治会を対象として聞き取り等によるアンケート調査を実施した。

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去4年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

ア. ごみ排出量の推移

年 度	20 年度	21 年度	対前年 度増減	22 年度	対前年 度増減	23 年度	対前年 度増減	24 年度	対前年 度増減
燃えるごみ	t 44,594	t 44,015	% △1.3	t 42,426	% △3.6	t 42,814	% 0.9	t 43,111	% 0.7
粗大ごみ	1,988	1,618	△18.6	1,459	△9.8	1,466	0.5	1,530	4.4
小 計	46,582	45,633	△2.0	43,885	△3.8	44,280	0.9	44,641	0.8

資源物	t	t	%	t	%	t	%	t	%
	6,977	6,608	△5.3	6,303	△4.6	6,187	△1.8	6,390	3.3
缶・金属類	1,335	1,389	4.0	1,166	△16.1	1,211	3.9	950	△21.6
投棄場搬入量	888	955	7.5	933	△2.3	967	3.6	646	△33.2
合計	55,782	54,585	△2.1	52,287	△4.2	52,645	0.7	52,627	△0.0

(注) 対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

(注1) 上表の「資源物」に「缶・金属類」は含まない。

イ. ごみの各平均排出量

年 度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
各 年 度 末 人 口 (人)	134,870	134,049	133,527	132,899	132,058
各 年 度 末 世 帯 数 (世帯)	53,255	53,406	53,690	53,812	53,840
総 ご み 排 出 量 (t)	55,782	54,585	52,287	52,645	52,627
1 日 平 均 排 出 量 (t/日)	152.83	149.54	143.25	144.23	144.18
1 日 1 人 平 均 排 出 量 (g/人・日)	1,133.1	1,115.6	1,072.8	1,085.3	1,091.8
1 日 1 世 帯 平 均 排 出 量 (g/世帯・日)	2,869.7	2,800.2	2,668.1	2,680.3	2,678.0

(注) 各年度末人口・世帯数は町別統計(住民基本台帳と外国人登録)を引用。

ウ. 処理経費の推移

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
処 理 経 費	円 1,741,906,000	円 1,796,480,000	円 1,517,192,000	円 1,463,028,000
ごみ1t当りの経費	31,912	34,358	28,819	27,800
1人当りの経費	12,995	13,454	11,416	11,079
1世帯当りの経費	32,616	33,460	28,194	27,174

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の売却及び委託量及び売却額

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合、(株)幸伸、(有)いせ梅田その他の中間処理施設を経由し、ごみの資源化を図った。また、過去3年間の売却及び委託量その他の推移は、次のとおりであった。(売却及び委託料には伊勢広域環境組合リサイクルプラザへの直接持込分も含む(紙類等を除く))

ア. 資源びん

年 度	売却及び委託量 及び売却額	無 色	茶 色	その他の色	計
22 年度	売却及び委託量 (kg)	505,490	398,740	160,100	1,064,330
	売却額 (円)	530,765	209,339	△197,724	542,380
23 年度	売却及び委託量 (kg)	515,290	383,380	146,030	1,044,700
	売却額 (円)	541,055	201,275	△129,967	612,363
24 年度	売却及び委託量 (kg)	515,640	391,260	147,000	1,053,900
	売却額 (円)	270,186	205,412	△95,256	380,342

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。

イ. 紙類等

年 度	売却量 及び 売却額	新聞・ 折込チラシ	雑誌・ 雑紙類	段ボール	飲料用紙パック		布・衣類	計
					(200ml 以外)	(200ml)		
22 年度	売却量 (kg)	1,122,930	1,332,770	750,950	27,690	0	182,740	3,417,080
	売却額 (円)	7,431,156	9,286,664	5,561,740	258,383	0	285,385	22,823,328
23 年度	売却量 (kg)	1,054,820	1,293,930	726,950	25,670	20	191,460	3,292,850
	売却額 (円)	8,438,560	9,057,510	6,110,890	287,175	60	389,885	24,284,080
24 年度	売却量 (kg)	1,090,770	1,271,660	721,200	24,470	0	177,980	3,286,080
	売却額 (円)	8,096,600	7,154,430	4,549,164	226,841	0	300,757	20,327,792

(注) 飲料用紙パックのうち「(200ml 以外)」は、平成 23 年度まで「(10)」と標記。

ウ. ペットボトル

年 度	売却量	売却額	売 却 先
22 年度	kg 324,320	円 10,573,648	(有) ジェイピー化工 (株) クリントック
23 年度	341,015	25,110,823	(株) クリントック
24 年度	347,740	16,510,607	(株) クリントック (株) サン・テス
計	1,013,075	52,195,078	—

エ. プラスチック製容器包装

年 度	委託量	委託料	委 託 先
22 年度	kg 988,080	円 1,576,976	三重中央開発 (株)
23 年度	959,150	498,758	(株) 斉藤商店 (有) 山川商事

24年度	kg 942,740	円 461,943	新日鐵住金(株) (有)山川商事
計	2,889,970	2,537,677	—

オ. ガラス・くずびん類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
22年度	kg 146,430	円 1,845,018	(株) ヤマムラ
23年度	148,380	1,821,216	トーエイ (株)
24年度	146,260	1,764,554	トーエイ (株)
計	441,070	5,430,788	—

(注) ガラス類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びん(資源びんを除く)のこと。

カ. 陶磁器類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
22年度	kg 255,870	円 5,077,740	(株) ヤマムラ
23年度	287,440	5,553,341	(株) ヤマムラ
24年度	277,560	5,245,884	(株) ヤマムラ
計	820,870	15,876,965	—

キ. 小型家電

年 度	売却量	売却額	委 託 先
24年度 (5月～3月)	t 171	円 897,750	トーエイ (株)

(注) 缶・金属類の回収においてピックアップ方式により試験的に実施した。

ク. 資源化率の推移

年 度	22年度	23年度	24年度
資源化率 (%)	18.68	18.40	18.47

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

3 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

(2) 指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。指定ごみ袋への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

ア. 種類 3種類（大袋 45ℓ、中袋 30ℓ、小袋 15ℓ）1袋：10枚入
高密度ポリエチレン製、半透明

イ. 販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売
（平成25年3月31日現在 販売店登録数 296店舗）

ウ. 販売価格 希望小売価格制度にて販売
市の提示する希望小売価格（大袋 75円、中袋 54円、小袋 37円：税別）

エ. 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	伊勢市指定ごみ袋納入業務委託	伊勢市指定ごみ袋の納入、保管、配送、受け払い、配送量報告及び数量管理報告業務	大袋 58円 ×552,800袋 中袋 39.5円 ×183,600袋 小袋 27円 ×82,600袋 43,622,042円	23.12.27	26.3.31

(注) 2か年の単価契約

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

年度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
22年度	126件	135基	2,956,700円
23年度	95	121	1,788,400
24年度	85	108	1,180,000
計	306	364	5,925,100

(4) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア. 廃食用油回収容器設置場所（市民対象） 39 か所（拠点ステーション・公民館ほか）

イ. 公共施設 44 か所（小・中学校、中学校給食共同調理場ほか）

ウ. 回収実績

年 度	廃食用油回収量
22 年度	0 26,926
23 年度	31,643
24 年度	30,165
計	88,734

（5）エコキャップ推進運動

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がエコキャップ運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課窓口、各支所窓口、市役所環境課窓口、清掃課にエコキャップ回収容器を設置した。

年 度	重 さ	個 数（約）	ポリオワクチン
平成 22 年度 （平成 22 年 10 月 1 日～）	kg 1,395	個 558,000	人分 697.5
平成 23 年度	4,819	1,927,600	2,409.5
平成 24 年度	6,445	2,694,910	3,222.5
計	12,659	5,180,510	6,329.5

4 排出環境の整備

（1）廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保すること目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。（以下は、過去3年間の推移。）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
22 年度	件 202	基 1,277	円 260,204,581
23 年度	98	354	54,471,658
24 年度	45	57	5,225,947
計	345	1,688	319,902,186

（注）利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア. 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊勢			小俣			計		
	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入	車数	搬入量	手数料 収入
市民自己 搬入分	車 155	kg 71,684	円 193,800	車 95	kg 47,330	円 137,400	車 250	kg 119,014	円 331,200
公共関係 搬入分	770	525,946	—	2	1,060	—	772	527,006	—
計	925	597,630	193,800	97	48,390	137,400	1,022	646,020	331,200

イ. 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進、廃棄物投棄場を適正管理するために下記の事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内 ほか	伊勢市廃棄物投棄場の地下水等水質調査	6 か所	円 939,750	24. 11. 28	25. 3. 20
朝 熊 町 地 内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 170.67t 瓦類 49.81t	1,135,987	24. 11. 28	25. 3. 20
〃	土砂再資源化業務委託	引取量 302.39t	14,889,646	25. 2. 19	25. 3. 20
計	3 件	—	16,965,383	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 169 自治会より推薦された 336 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。(以下は、過去3年間の推移。)

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨励金 交付額
			紙 類	布 類	缶 類	計	び ん	
22年度	団体 172	団体 150	kg 2,844,701	kg 48,980	kg 69,230	kg 2,962,911	本 6,080	円 17,795,490
23年度	162	156	2,891,890	54,384	71,256	3,017,530	5,715	18,122,080
24年度	163	159	2,809,763	51,665	66,122	2,927,550	5,309	8,798,300
合計	497	465	8,546,354	155,029	206,608	8,907,991	17,104	44,715,870

(注) 1kg 当たり 3円、リターナブルびんについては1本当たり 3円の奨励金を交付した。

(平成 23 年度までは 1kg 当たり 6円、リターナブルびんについては 1本当たり 3円)

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。また、廃食油の再資源化の説明会を行った。

(説明会開催回数 延べ 26 回、参加人員 延べ 511 人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成 25 年度版ごみカレンダー」とごみの分別方法を記載した「ごみの分け方・出し方」を作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。(平成 25 年度版作成部数 ごみカレンダー 65,000 部、ごみの分け方・出し方 65,000 部)

また、ごみカレンダーへの広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。(広告掲載箇所数 20 か所、収入金額 600,000 円)

(5) 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会 (ごみ関係)

分科会の事業のうち、ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

平成 24 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
24. 5. 27	伊勢市駅前 ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化の意識啓発のため、伊勢市駅周辺を早朝清掃した。	参加者 約 400 人 可燃ごみ 550kg 不燃ごみ 20kg
24. 10. 21	ごみゼロポスター コンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計 66 名 (応募作品数 926 作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内 4 か所に設置した監視カメラ (移動式) で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物回収実績：テレビ 190 台、冷蔵庫 35 台、洗濯機 12 台、エアコン 14 台
タイヤ 215 本 他。

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・指定袋・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事業名	広告媒体	広告掲載数	収入額
じん芥収集車両掲載広告事業	じん芥収集車両	7	1,116,000 ^円
指定袋制度運営事業	指定袋	12	640,000
ごみ減量・資源化事業一般経費	ごみカレンダー	20	600,000
計	—	39	2,356,000

※広告の単価は、掲載場所や掲載の大きさ等により異なります。

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 39 台、収集人員 61 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、ゴールデンウィーク（4 月 30 日）、年末（12 月 30 日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

ア. 所管している車輛

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 39 台の車両で行った。

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワー リフト
2 台	6 台	15 台	5 台	2 台

2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	計
3 台	1 台	4 台	1 台	39 台

イ. 車両の売却

収集コースの見直しや収集基地の集約に伴い、不要となった車両をインターネットオークションに基づき売却を行った。

種 別	金 額	種 別	金 額
2 t パッカー	円 1,166,300	2 t パッカー	円 1,527,686
2 t パッカー	1,166,300	軽トラック	103,000
2 t パッカー	1,700,000		
2 t パッカー	1,023,000	計	6,686,286

(2) 収集人員

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を61名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
名 58	名 3	名 61

(3) 委託関係

資源物回収の補助業務を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集の一部を民間業者に委託した。

また、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定められた各地区の合理化学業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区及び御薮町地区）に基づき、旧伊勢市地区については、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、プラスチック製容器包装及びペットボトルの収集運搬の業務を旧伊勢市市内の3業者に委託した。

小俣町地区については、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類及び陶磁器類の収集運搬の業務を小俣町地区の2業者に委託した。

御菌町地区については、燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類の収集運搬の業務を御菌町地区の1業者に委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地内	資源物回収補助業務委託	回収袋の洗浄及び補修業務委託 一式	円 11,113,200	24. 4. 1	25. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託 一式	1,406,160	24. 4. 1	25. 3. 31
伊勢市内 地内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その1)業務委託	一般廃棄物(資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装)収集運搬業務委託 一式	64,050,000	24. 4. 1	25. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2)業務委託	一般廃棄物(資源びん、紙・布類、ペットボトル)収集運搬業務委託 一式	56,179,200	24. 4. 1	25. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	一般廃棄物(プラスチック製容器包装)収集運搬業務委託 一式	33,159,000	24. 4. 1	25. 3. 31
小俣町 地内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	一般廃棄物(プラスチック製容器包装、紙類、ペットボトル)収集運搬業務委託 一式	12,442,500	24. 4. 1	25. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その5)業務委託	一般廃棄物(資源びん、布類、ガラス・くずびん類、陶磁器類、プラスチック製容器包装回収袋配置、ペットボトル回収袋配置)収集運搬業務委託 一式	7,059,150	24. 4. 1	25. 3. 31

御 菌 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その6) 業務委託	一般廃棄物 (燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類) 収集運搬業務委託一式	円 22,995,000	24. 4. 1	25. 3. 31
計	8 件	—	208,404,210	—	—

(4) 工事関係

明野資源拠点ステーションにおいて、資源庫入口部分の凹み疵を修繕工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小 俣 町 新 村 地 内	明野資源拠点ステーション資源庫修繕	資源庫修繕工事一式	円 73,500	24. 8. 30	24. 8. 30

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集15コースにて週2回収集した。御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量
車 21,803	kg 26,863,170	車 292	kg 205,260	車 22,095	kg 27,068,430

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、991か所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115か所で適時収集を行った。

区分	缶・金属類	資源びん	新聞・折込チラシ	雑誌・雑紙類
収集量	kg 950,020	kg 1,210,790	kg 1,090,770	kg 1,271,660

段ボール	飲料用紙パック	布・衣類	ペットボトル	プラスチック製容器包装
kg 721,200	kg 24,470	kg 177,980	kg 432,370	kg 1,107,380

ガラス・くずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	計
kg 146,260	kg 277,560	kg 46,460	kg 22,670	kg 7,479,590

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成24年度末現在で19か所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）し、支所での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター及び地元自治会にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	円 8,414,897	24. 4. 1	25. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	1,900,000	24. 4. 1	25. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	24. 4. 1	25. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	24. 4. 1	25. 3. 31
計	4件	—	11,714,897	—	—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として 634 件、2,601,700 円を徴収した。

また、猫等の小動物 299 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 53 体については、1 体につき 1,050 円の手数料として、55,650 円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	634 件	2,601,700 円
小動物の死体	53	55,650
合計	687	2,657,350

(2) 火災被害者 9 件の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	水害被害者	計
件数	9 件	0 件	9 件

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けているお年寄りや身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行うふれあい収集事業を実施した。

利用希望者の申請をもとに 4 回の審査会を開催し、7 件の審査の結果 6 件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務及びごみの適正処理を衛生的、効率的に行った。

24 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	斎 場	し 尿	ご み	計	
共通経費	千円 446	千円 2,715	千円 6,230	千円 9,391	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	30,859	187,765	430,792	649,416	実績割 100%
建設経費	8,278	21,548	202,049	231,875	平等割 10%、人口割 90%
公債費	—	13,513	160,847	174,360	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	6,136	6,136	
計	39,583	225,541	806,054	1,071,178	